

海・空・港の研究所 ～夏の一般公開～

毎年恒例『海の月間』の行事として、国土技術政策総合研究所と独立行政法人港湾空港技術研究所の共催による「海空港(うみ・そら・みなと)の研究所 夏の一般公開」が7月28日(土)に開催されました。梅雨の間の快晴の下、今年は1,141名の皆様にご来場いただきました。

今年は車でのご来場をご遠慮いただきましたが、昨年同様、京急久里浜駅から当所までの無料シャトルバスを手配し、多くの方にご利用いただきました。



コンテナ模型の展示の様子



受付は開始時間前からにぎわいました



津波漂流物水槽の前で熱心に説明を聞く方たち



羽田空港航空写真で滑走路について説明



ジャンボジェットのタイヤが目の前に

夏休みが始まりすぐの週末とあって家族連れの方が多く、当所ではパネル展示の他、模型を使用しての展示を行い、コンテナ模型ではコンテナの荷役シミュレーションに熱中する親子の姿や、航空機荷重装置では間近にジャンボジェットのタイヤが見ることができるとあって、記念写真をとる方が目立ちました。

なお、今年も高校生以下の子供にはスタンプラリーを、またすべての来訪者にアンケートをお願いし、お寄せいただいたご意見に関しては今後の研究活動や一般公開、広報活動に活用させていただきます。

次回の一般公開は秋(11月中旬頃)に予定しております。皆様のご来場をお待ちしております。